

平成27年度 第9回 東区自治協議会 第1部会 会議概要録

日 時 平成27年12月11日（金）午前10時～12時
会 場 東区役所 会議室 A
出席委員 9名出席（欠席：五十嵐委員）
進行役 作左部委員

1. 議事に沿って討議した。

1) 災害時ひなん誘導看板検証作業の振り返り

11月24日・25日に実施した災害時ひなん誘導看板検証作業について、別紙検証結果を基に振り返りを行い、委員から感想を聞いた。

【主な感想】

- ・看板の設置場所に自治会の方々が非常に苦勞しているのが分かった。
- ・隣接する自治会同士の横のつながりが無いのが課題だ。
- ・看板の数が少ないと感じたので、増設が必要かどうか各コミ協でもう1回検討してもらったほうがいい。
- ・検証作業により大勢の方が参加すれば意識が高まるのではないか。オリエンテーリングのような防災を兼ねたイベントで看板を探してもらい、親子で参加してもらおうのもいい。
- ・看板の色は白よりも黄色にしたり、夜目立つように反射テープを張るなどの工夫が必要。

検証の結果、看板数の不足や設置場所など、改善する必要があることが分かり、改善方法については、来年度検討することとした。

また、今年度の看板の予算執行状況について、見積もり合わせの結果1枚当たりの単価が下がって、90万円の予定が約65万円となっていると事務局から説明があった。検証作業の結果を踏まえて、看板を追加作成するため、12月18日開催のコミ協連絡会で看板の追加注文について各コミ協に依頼することとした。

2) 平成28年度自治協議会提案事業について

長谷川副部長から会議概要録に沿って提案事業検討部会の報告があり、平成28年度東区自治協議会提案事業（案）について、意見交換を行い、承認した。

【主な意見】

- ・区名入りの住居表示・看板の設置について、提案事業としては見送られたが、全市的な問題であり、要望があったことを関係部署に伝えてほしい。

また、第1部会の企画担当事業の具体的な内容について、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・災害時ひなん誘導看板については継続してやっていく必要がある。
- ・看板を設置するのに苦勞している実態があり、歩道に避難所の表示をすることはできないか。
- ・各コミ協で防災を担当している方々から集まってもらい、意見交換をしたらどうか。
- ・地域の代表の方ばかりではなく、地域住民の方々にも参加してもらって、ワークショップや意見交換をやった方がいい。
- ・市民への広報として、過去の災害について、コミ協毎に歴史を掘り起こしてもらい、災害史としてまとめたパネルを作成して各地域のコミュニティセンターやコミュニティハウスなどに展示したらどうか。

上記意見を踏まえて、2役と事務局で予算案を付けた最終案を作成し、12月の本会議で諮ることについて了解した。

2. 事務局より事務連絡

次回開催日 平成28年1月15日（金）午前10時～
東区役所会議室A

災害時ひなん誘導看板 検証項目シート 集計結果

◆検証作業日及び検証地域

平成27年11月24日(火) 山の下地区コミュニティ協議会 古川自治会
 平成27年11月25日(水) 大形地区コミュニティ協議会 海老ヶ瀬第一自治会
 平成27年11月25日(水) 東中野山小学校区コミュニティ協議会 中児第一自治会

◆検証者内訳

	山の下	大形	東中野山	合計
自治協議会委員	11	6	9	26
地域	9	8	9	26
新潟県立大学	4	0	2	6
	24	14	20	58

◆検証項目

【災害時ひなん誘導看板の検証作業に参加した方に伺います】

※全員回答

(1) 看板の設置場所は、分かりやすいですか？

	山の下	大形	東中野山	合計
分かりやすい	6	8	11	25
どちらとも言えない	7	4	6	17
分かりにくい	10	1	2	13
記載なし	1	1	1	3
	24	14	20	58

(2) 看板の記載内容は、適切かつ分かりやすいですか？

	山の下	大形	東中野山	合計
分かりやすい	10	10	12	32
どちらとも言えない	9	3	6	18
分かりにくい	4	0	1	5
記載なし	1	1	1	3
	24	14	20	58

(3) 避難所(避難場所)までの看板の設置枚数は適切ですか？

	山の下	大形	東中野山	合計
適切である	1	2	4	7
どちらとも言えない	9	7	10	26
適切でない	13	4	5	22
記載なし	1	1	1	3
	24	14	20	58

(4) 避難所(避難場所)に辿り着きましたか？

	山の下	大形	東中野山	合計
辿り着いた	17	10	19	46
辿り着かなかった	3	1	0	4
記載なし	4	3	1	8
	24	14	20	58

【災害時ひなん誘導看板を設置した地域の方に伺います】

※地域の方のみ回答

(5) 看板の設置は、東区自治協議会提案事業であることを知っていましたか？

	山の下	大形	東中野山	合計
知っていた	6	3	8	17
知らなかった	3	1	0	4
記載なし		4	1	5
	9	8	9	26

(6) 看板の設置後、住民の防災意識に変化はありましたか？

	山の下	大形	東中野山	合計
変化があった	1	2	1	4
どちらとも言えない	4	3	7	14
変化はなかった	4	0	0	4
記載なし		3	1	4
	9	8	9	26

(7) 看板を使用して、避難訓練を実施しましたか？

	山の下	大形	東中野山	合計
実施した	1	2	0	3
今後実施する予定	4	1	4	9
実施する予定はない	4	0	4	8
記載なし		5	1	6
	9	8	9	26

(8) 避難誘導に対して、地域が力を入れていることは何ですか？(自由記載)

山の下	声掛け 町内全員に繰り返し避難場所を周知徹底させること。 看板設置の告知、避難訓練に多数参加依頼 避難の周知 これからよく考える 年1回といえども防災訓練に参加してもらうこと 年1回の防災避難訓練をやっている
大形	連絡体制表の作成
東中野山	避難場所をしっかり決めておく 地域活動に参加できない人の誘導に力を入れる 災害弱者の安全確保 防災訓練を重ね本番に役立てたい 一時避難場所は自治会で決めており、その後避難所へ 避難訓練を実施していないので検討が必要 参加者を増やしたい

山の下地区

◆検証作業全体の振り返り(自由記載)

【看板について】

- ・他地域の人が避難するには看板が少なすぎる。
- ・町内によって看板が多くあるところとないところがあり、多く配布してほしい。
- ・看板を大きめにしてほしい。
- ・外国語の記載が必要か(ロシア語、中国語、韓国語等)
- ・もっと目立つ色や外国人にも解りやすいマークや表示が必要。
- ・矢印を設置してはどうか。
- ・避難所に近づくまでは建物を認識できなかったため 看板で誘導することや地図等を設置するの必要を感じた。
- ・看板設置の目的が避難場所の周知なのか(ゴミステーション、スーパーに設置)誘導なのかそれが曖昧だと言うことが解った。

【設置場所について】

- ・今回の検証地は看板枚数が1枚ということなので これからつける場所等の検討が必要。
- ・大型スーパーにも看板が必要と思う。
- ・古川町だけでなく山ノ下地区全体で設置場所の選定(調整)が必要(必要とする場所が多く存在するのでは?)
- ・看板の検証というより看板を求めて歩いたという感じ。地面に近かったり気に隠れていたりで解りづらかった。
- ・まちづくりセンター駐車場の看板はムダ。
- ・設置場所に困っている(電柱に統一したものを設置できるようにしてほしい)
- ・大きい道路沿いに看板があると避難場所を見つけることができると思う。
- ・ゴミステーションに看板があったが普段利用する人はいいが車を運転している人にはわからないと思う。

【その他】

- ・地域と直接意見交換ができたことは良い。
- ・意見交換に於いて行政への要望がほとんど出なかったのは、地域性が良くなってきた表れか。
- ・自分の住んでいない地域を回ることによって多くの気づきがあった。参加して良かった。
- ・検証作業することで「看板が来たから設置」でなく、自助の意識が高まるのではと期待するが、自治協との考えのズレに気づいた。
- ・海拔の低い所を通過して避難所に行くのは命に係るのでとっさの時に自分で考え行動する自助の必要性を感じた。
- ・交流人口に対しては次回の検討にしてほしい。
- ・高齢者の避難方法をどうするか。
- ・皆と一緒に歩いたので看板や避難所を見つけることができたが、学生のみだったら土地勘がないのでわからなかったと思う。
- ・看板ばかりを話し合うのではなく、地域住民に周知徹底を。

大形地区

◆検証作業全体の振り返り(自由記載)

【看板について】

- ・地域が広いので、看板はもっと多くてもよいのではないかと思う。
- ・この地区で、2枚は少ないと思いました。目線より上に設置してもよいと思う。看板の色「白」より「黄色」の方が目立つと思いました。
- ・枚数が少ない。早急に増やしたい。

【設置場所について】

- ・中学校から1枚目ですが、ちょうど十字の交差点でもあるので、歩道を引くことで一時停止時に目につくのももう少し皆様が理解できるのでは。

【その他】

- ・地域の方がよく地元のことを考えている様子が分かりました。
- ・白銀・太平・向陽が松崎公園を避難場所として共有していたのは全く分かりませんでした。
- ・海拔表示の必要性を感じました(どこの地区でも)
- ・津波発生した場合、一正蒲鉾方面と中学校方面に分かれるのか、それとも自己判断なのでしょうか？
- ・住民の皆様はこの看板や避難所の認識があるのだろうか？皆様お世話になりました。ありがとうございました。
- ・あいにくの雨でしたけれども、検証で地域を回ってみました。勉強になりました。
- ・また、振り返りの懇談会が充実していて、いい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

東中野山地区

◆検証作業全体の振り返り(自由記載)

【看板について】

- ・当地域に限らず看板が少ない
- ・看板と看板の距離が長いので追加が必要
- ・外国語表示の看板必要
- ・外国語の看板必要の意見あり、目、耳の不自由な方にも分かりやすい看板必要
- ・看板目立たない、距離表示が合わない
- ・看板目立って良い
- ・避難所への誘導表示必要
- ・反射式の看板必要
- ・看板目立つように蛍光色、蛍光テープなどの工夫を
- ・暗い時間帯に避難しやすい工夫が必要、街灯や音声案内
- ・避難所近くにはこの先〇〇小学校などの表示必要
- ・小路の入り口の看板は両方から見えるように改良必要
- ・大きさ、デザインは決められているのか

【設置場所について】

- ・コミ協全体で設置場所を決めたほうが良い
- ・看板の位置再考
- ・避難道路の広い所に取り付けできないか
- ・自治会が自前のポールで看板設置する苦勞を理解
- ・公共道路の植木スペースに設置できないか
- ・歩道に表示出来ないか
- ・私有地に設置は共感覚える

【その他】

- ・訓練の重要性認識
- ・地域の防災対策がどのようになっているか、東区のコミニティがどのようになっているかを知る機会になった
- ・地元以外の方による地図を持たず看板だけで避難所にいけるかの検証必要
- ・津波被害は受けにくい地域今後は避難受け入れの意識構築必要
- ・自治会内での検証必要